

令和6年度
「BLUE ECONOMY EXPO@Suruga
Bay」
開催報告



**BLUE
ECONOMY
EXPO**
@Suruga Bay



一般財団法人マリンオープンイノベーション機構

【開催概要】

事業名	BLUE ECONOMY EXPO@Suruga Bay
開催日時	令和6年7月17日（水）～7月18日（木）
開催内容 及び開催会場	■海の未来会議@駿河湾 会場：清水マリンビル7階 内容：国内外から集結した有識者たちによる海洋経済（ブルーエコノミー）に関する国際会議を開催しました。 ■海のEXPO@駿河湾 会場：清水マリンターミナル2階 多目的ホール 内容：多種多様な海洋産業が一堂に会した展示会が行われ、「海洋」に関わる技術や情報を発信いたしました。 ■ローカルエリアネットワーク会議
同時開催イベント	<input type="checkbox"/> Ocean Biz 2024 <input type="checkbox"/> SDGsアクアリウム
主催	一般財団法人マリンオープンイノベーション機構
共催	静岡県、静岡市、静岡商工会議所（新産業開発振興機構・海のみらい静岡友の会）、東京工業大学 超スマート社会推進コンソーシアム、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社
協賛	ORNIS株式会社、沖電気工業株式会社
後援	内閣府総合海洋政策推進事務局、文部科学省、水産庁、国土交通省
来場者数	延べ 2,518人（2日間合計）

ご来場いただき誠にありがとうございました。

ご参加いただきました皆様、ご協力いただきました皆様に
深く感謝申し上げます。

◆開催にあたり、開会式を清水マリンターミナル2階多目的ホールで執り行い、御来賓として鈴木康友静岡県知事をはじめとする方々に出席いただきました。



◆式では当機構の松永是代表理事より御挨拶を申し上げ、当イベントを通じて静岡の地からブルーエコノミーをより一層推進していく決意をあらためて表明しました。

◆開催記念として、東海大学海洋研究所長平朝彦先生に、「人新世における駿河湾～今、何が起っているのか～」というタイトルで御講演いただきました。



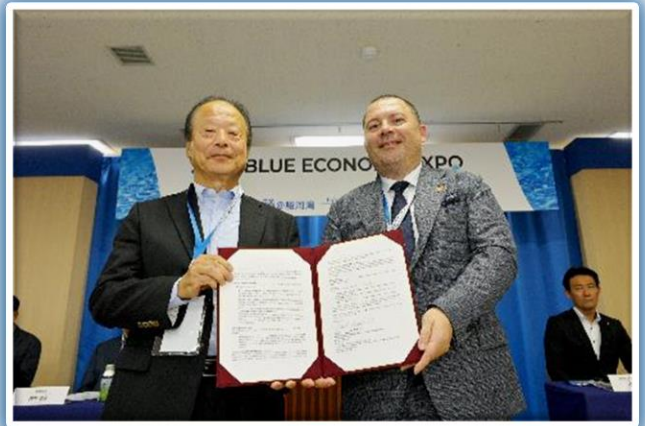
◆講演では駿河湾という世界に他に類を見ない地域（ホットスポット）をテストフィールドとした、人間活動と深海を直結するメカニズム「海底混濁流」の研究について紹介されました。

■ 海の未来会議@駿河湾



◆海の未来会議では2日間にわたり国内外の有識者25名によるブルーエコノミーに関する発表とディスカッションが行われました。

◆会議の冒頭で、国際的なブルーエコノミークラスター「Blue Tech Cluster Alliance(BTCA)」の中心的存在であるポルトガルのFórum Oceano代表Ruben Eiras氏へ、当機構のクラスターへの参加意向表明書を手渡しました。



◆駿河湾スマートオーシャン議員連盟の会長を務める上川陽子衆議院議員（静岡1区選出）からビデオメッセージにて御祝辞をいただきました。

◆会議では当機構の五條堀孝研究所長を議長に、白熱した議論が展開されました。



PROGRAM

7.17 wed | 12:40-17:10

Opening Remarks 12:40-13:00

主催者等あいさつ/来賓祝辞

Main Session 13:00-14:00

人も自然も豊かで持続可能な社会の実現
～海洋の課題と解決に向けて～

Achieving a Prosperous and Sustainable Society
for Humans and Nature
- Challenges and Solutions for the Oceans

海洋の課題と解決に向けた取り組み～駿河湾から世界の「ブルーエコノミー」を～
Challenges and Solutions for the Oceans: From Suruga Bay toward a Global "Blue Economy"
笹川平和財団 理事長 角南 篤氏 Atsushi Sunami

海とネイチャーポジティブ経営

Ocean and Nature-Positive Management

東北大学 グリーン未来創造機構・大学院生命科学研究所 教授兼 日経ESGシニアエディター 藤田 香氏 Kaori Fujita

海洋国家日本を実現する水上/海上スマートシティ事業

Floating smart city to realize Japan as a maritime nation.

株式会社N-ARK 代表取締役 田崎 有城氏 Yuki Tazaki

Exploring BlueTech Intersectionalities for Innovation and Collaboration:

TMA's Call for International Partners

TMA BlueTECH Executive Director Matt Classen氏

Accelerating a sustainable blue economy in Portugal in connection to the world

Forum Oceano Secretary-General Ruben Eiras氏

Sustainable management of the ocean resources

- Norway's national and international efforts

ノルウェー大使館 駐日ノルウェー大使 Kristin Iglum氏

Blue Carbon in Queensland, Australia and the Asia Pacific

- opportunities, learnings, and actions

The Nature Conservancy, Asia Pacific region Climate Partnerships Director Allison Lewin氏

Blue Carbon and International Partnerships Department of Climate Change, Energy, the Environment and Water Australian Government Director Steve Clark氏

Natural Capital Research and Innovation Department of Environment, Science and Innovation Queensland Government Manager Linda Lee氏

Unlocking the Blue economy of Saudi Arabia, approach and enablers

General Organization for Conservation of Coral Reefs and Turtles in the Red Sea CEO Khaled Asfahani氏

Marine as a service (MaaS) in academics of digital era

National Taitung University President Cheng, Sheng-Tzong氏

海洋開発等重点戦略について

Ocean Development Strategy

内閣府総合海洋政策推進事務局 参事官 谷口 礼史氏 Reishi Taniguchi

駿河湾を活かしたブルートランスフォーメーション国際拠点の形成

Creating an International Hub for Blue Transformation at Suruga Bay

静岡市 市長 難波 嵩司氏 Takashi Nanba

駿河湾マリンインフォマティクス

Marin Informatics for Suruga Bay

早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構 規範科学総合研究所 上級研究員・研究院教授 高橋 桂子氏 Keiko Takahashi

超スマート社会推進コンソーシアムにおけるスマートオーシャンへの取り組み

Smart Ocean Project in Super Smart Society Promotion Consortium

東京工業大学 教授 阪口 啓氏 Kei Sakaguchi

Closing 17:05-17:10

7.18 thu | 9:55-12:05

Opening 9:55-10:00

持続的かつ安心・安全な海洋デジタル未来社会を支えるSAMRAI衛星ミッションについて
SAMRAI satellite mission to support a sustainable, safe and secure marine digital future society

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 SAMRAIプロジェクトチーム チーム長 富井 直弥氏 Naoya Tomii

海洋大国日本を支える次世代水産システムの創造力

Creativity of Next generation Fisheries System supporting Japan, a maritime powerhouse

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 理事長 中山 一郎氏 Ichiro Nakayama

大型藻類にかける夢

Macroalgae Dream for Our Green and Blue Earth

京都大学 成長戦略本部・高等研究院 特任教授 植田 充美氏 Mitsuyoshi Ueda

Breakthrough Innovation for Blue Economy -IOWN-

日本電信電話株式会社 代表取締役副社長 副社長執行役員 CTO 川添 雄彦氏 Katsuhiko Kawazoe

OKIが目指す海洋事業

OKI's vision for the marine business

沖電気工業株式会社 上席執行役員 加藤 洋一氏 Yoichi Kato

三井住友銀行におけるブルーエコノミー市場での取組

SMBC's Activities in Blue Economy Market

株式会社三井住友銀行 ストラクチャーファイナンス営業部 戦略企画グループ長 佐藤 正一氏 Masakazu Sato

ブルーテックスタートアップへの期待

Expectations for Blue Tech Startups

Beyond Next Ventures株式会社 投資部門 パートナー 有馬 曉澄氏 Akito Arima

Sub Session 3 10:00-11:30

ブルーエコノミーを支える
技術の進展とマーケットの期待

Advanced Technology Helping the Blue Economy
and Market Expectations

Sub Session 4 11:30-11:55

ブルーエコノミー進展を
支える人材づくり

Developing Human Resources to Support
Blue Economy Progress

JAMSTECが取り組む海洋STEAMプロジェクト

Ocean STEAM Project in JAMSTEC

国立研究開発法人 海洋研究開発機構 理事長 大和 裕幸氏 Hiroyuki Yamato

国立研究開発法人 海洋研究開発機構 海洋科学技術戦略部 海洋STEAM推進課 課長 市原 盛雄氏 Morio Ichihara

水中ロボコンを通じた人材育成の試み

Outreach Activity through Underwater Robot Competition

九州工業大学 教授 石井 和男氏 Kazuo Ishii

Closing Remarks 11:55-12:05

■ 海の未来会議@駿河湾



◆未来会議のメインセッションでは、
笹川平和財団 理事長 角南 篤 氏に
「海洋の課題と解決に向けた取り組み～駿河湾から世界の「ブルーエコノミー」を～」と題して基調講演を御披露いただきました。

◆（写真手前から順に）
Matt Classen氏【米国】
Ruben Eiras氏【ポルトガル】
Kristin Iglum駐日大使【ノルウェー】
は会場で講演してくださいました。



◆国際オンライン中継で豪州から
3名の参加がありました。
Steve Clark氏（写真左上）
Allison Lewin氏（同右上）
Penny de Vine氏（同下）

◆難波 喬司 静岡市長による
「駿河湾を活かしたブルートラン
スフォーメーション国際拠点の形
成」の講演の様子。



■ 海の未来会議@駿河湾

◆ 「Breakthrough Innovation for Blue Economy -IOWN-」 について講演する日本電信電話株式会社 副社長 川添 雄彦 氏。



◆ 国立研究開発法人海洋開発研究機構 理事長 大和 裕幸 氏には、JAMSTECが取り組む海洋STEAMプロジェクトについての講演を行っていただきました。

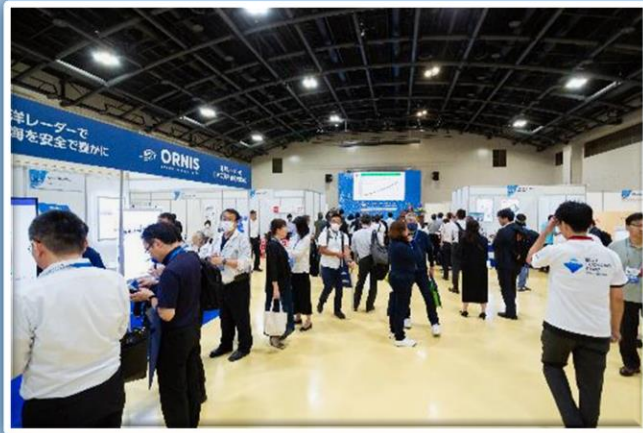
◆ 会議の講演者、聴講者合わせて二日間で延べ262名の方に御参加いただきました。



■ 海のEXPO

◆全国各地からバイオ、ロボティクス、情報・通信などに関わる46の企業・団体様に出展いただき、ブルーエコノミーに特化した展示会を開催しました。

◆（一社）日本水中ドローン協会様のブースには水中ドローン企業13社と水中ドローンの活用を進める2自治体が集結し、常に多くの来場者でにぎわっていました。



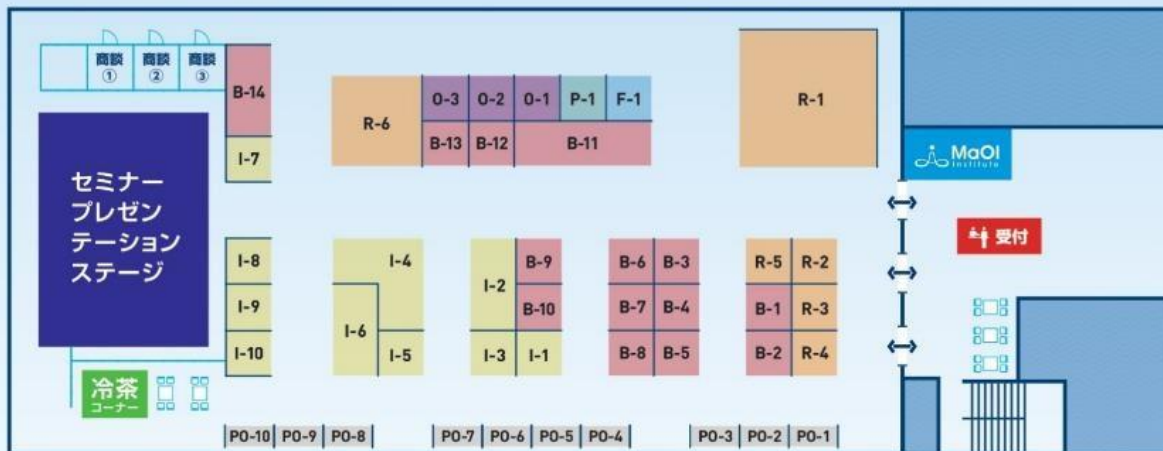
◆展示会場内の特設ステージでは出展者によるプレゼンも行われ、17の企業・団体担当者による自社製品や企業活動の取組み事例が披露されました。写真は、オーシャンソリューションテクノロジー株式会社（佐世保市）田村様によるプレゼンの様子。

海のEXPO

@駿河湾

日時 2024年7月17日(水) 11:00~17:00
7月18日(木) 10:00~16:00

場所 清水マリンターミナル2F 多目的ホール



出展者の概要

R-1 水中ドローン	一般社団法人 日本水中ドローン協会	I-4 海洋観測	ORNIS株式会社
R-2 水中ドローン	日本電信電話株式会社 (NTT)	I-5 海洋観測	株式会社MizLinx
R-3 ROV(水中ドローン)	株式会社水龍堂	I-6 海洋観測	株式会社ウインディーネットワーク
R-4 沖縄海洋ロボット競技会	沖縄海洋ロボットコンペティション	I-7 海洋観測	JFEアドバンテック株式会社
R-5 自動航行	株式会社エイトノット	I-8 AQUA Vision ~シップレコーダー~	株式会社ユピテル
R-6 VR	日本電信電話株式会社 (NTT)	I-9 漁業支援	株式会社環境シミュレーション研究所
B-1 陸上養殖	ジャパンマリンポニックス株式会社	I-10 環境コンサル	いであ株式会社環境創造研究所
B-2 金融・仮想通貨	JPYC株式会社	F-1 ベンチャーキャピタル・ アクセラレーター	Beyond Next Ventures株式会社
B-3 陸上養殖	Proximar株式会社	P-1 自治体	函館市
B-4 陸上養殖、養殖DXシステム	株式会社ストラウト	O-1 養殖・自動化	Radmantis
B-5 研究・教育	東京工業大学 超スマート社会推進コンソーシアム	O-2 海洋土木	あおみ建設株式会社
B-6 研究・教育	静岡大学	O-3 海洋土木・海まちづくり	大成建設株式会社
B-7 生物学	慶応義塾大学理工学部 機械工学科高橋研究室	MaOI	温水利用研究センター/MaOI機構/静岡県
B-8 研究・教育	東海大学静岡キャンパス	PO-1 洋上ドローン	Niho'ohe合同会社
B-9 環境分析	株式会社イノカ	PO-2 養殖・品種改良	株式会社さかなドリーム
B-10 ブルーカーボンプロジェクト	株式会社未来創造部	PO-3 情報通信	株式会社オーシャンアイズ
B-11 研究	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)	PO-4 水産物の品種改良	リージョナルフィッシュ株式会社
B-12 次世代養殖システムの構築	国立研究開発法人 水産研究・教育機構	PO-5 船舶	一般財団法人 日本船舶技術研究協会
B-13 陸上養殖	IMTエンジニアリング株式会社	PO-6 微生物研究	株式会社396パイオ
B-14 研究	国立研究開発法人 海洋研究開発機構 (JAMSTEC)	PO-7 光産業・教育	光産業創成大学院大学
I-1 情報・通信	オーシャンソリューション テクノロジー株式会社	PO-8 電力	Yellow Duck株式会社
I-2 情報・通信	沖電気工業株式会社	PO-9 海洋環境	Rebuilding with Nature
I-3 実証実験	静岡県商工会議所 新産業開発振興機構 静岡・海洋実証フィールドプラットフォーム	PO-10 電力	電源開発株式会社 J-POWER

特設ステージイベント

7月17日(水)

- 11:00~ 開会式
- 11:15~ BLUE ECONOMY EXPO @Suruga Bay 開催記念・第20回 MaOIセミナー

「人新世の駿河湾—今、何が起きているのか」

◆講師
東海大学教授 海洋研究所長、
国立研究開発法人 海洋研究開発機構 (JAMSTEC) アドバイザー、
東京大学名誉教授 平 朝彦氏

概要と経歴
1946年、宮城県生まれ。東北大学理学部を卒業、テキサス大学ダラス校で博士課程修了 (Ph.D.)。1978年から高知大学理学部助教授。1985年から東京大学海洋研究所教授。さらに2002年から海洋研究開発機構の地球深部探査センター長、理事を経て2012年4月~2019年8月まで理事長を歴任。現、同機構アドバイザー。2020年4月から東海大学教授・海洋研究所長に就任。
四万十帯および南トラフを中心としたプレート沈み込み帯の付加作用の研究で地質学に新分野を創出した。「ちきゅう」を用いた国際深海科学掘削に参画。海洋・地球科学分野での最先端領域の開拓を目指してきた。また、近年は、広く地球と人社会の持続的共生関係と人新世について考察を進めている。

- 12:00~ 出展者プレゼンテーション
- 12:00~12:15 一般社団法人 日本水中ドローン協会
- 12:25~12:40 ORNIS株式会社
- 12:50~13:05 ジャパンマリンポニックス株式会社
- 13:15~13:30 株式会社MizLinx
- 13:40~13:55 あおみ建設株式会社
- 14:05~14:20 オーシャンソリューションテクノロジーズ株式会社
- 14:30~14:45 株式会社エイトノット
- 14:55~15:10 JFEアドバンテック株式会社
- 15:20~15:35 株式会社ストラウト
- 15:45~16:00 Beyond Next Ventures株式会社
- 16:10~16:25 国立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC)

7月18日(木)

- 10:15~ 出展者プレゼンテーション
- 10:15~10:30 函館市
- 10:40~10:55 光産業創成大学院大学
- 11:05~11:20 大成建設株式会社
- 11:30~11:45 国立研究開発法人 水産研究・教育機構
- 11:55~12:10 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)
- 12:20~12:35 東京工業大学 超スマート社会推進コンソーシアム
- 13:30~ ローカルエリアネットワーク会議

日時 2024年7月18日(木) 13:30~15:30
場所 清水マリンターミナル2F 多目的ホール
参加者 函館市、福島県、横浜市、神戸市、山口県、長崎県、佐世保市、静岡県、静岡県、静岡県、MaOI機構
開催概要 各自治体等の取組紹介と意見交換

■ ローカルエリアネットワーク会議

◆ステージイベントの最後で「ローカルエリアネットワーク会議」と題し、海洋に関する各自治体の取組紹介や意見交換を実施いたしました。

◆函館市、福島県、横浜市、神戸市、山口県、長崎県、佐世保市、静岡県、静岡市の担当者に御出席いただき、今後も連携を図っていくことで合意しました。





◆ Ocean Biz 2024

清水港実証フィールドで水中ドローンのデモンストレーションを実施しました。12社の水中ドローンが実際に海の中で動く様子を観察していただきました。

◆ SDGsアクアリウム

活魚輸送トラックを用いた「おさかなトラック」を設置し、来場者に駿河湾で暮らす海のいきものを観察していただきました。

■ さいごに

今年7月でマリンオープンイノベーション機構が設立されて5年が経ちました。節目となるこの時期に、当機構主催で初めてこのような大型イベントを開催することができましたこと感謝申し上げます。

引き続き、ブルーエコノミーの発展のために活動を続けてまいりますので、どうぞ今後ともよろしく願いいたします。